

# Web ライティングで稼ぐ方法

## 【目次】

- (1) Web ライティング奴隷から抜けだそう！
- (2) スキルに応じた収入格差の驚くべき実態
- (3) スキルを上げると何ができるか？
- (4) 稼げる Web ライティング術とは？
- (5) 「普通は書けない文章」の書き方
- (6) 今まで協会に来たユニークな注文とそのノウハウ

巻末付録：協会で見られているお勧め素材集

## (1) Web ライティング奴隷から抜けだそう！

企業での最低時給がどんどん上がる中、在宅ライターの賃金は非常に低いままです。

記事作成でいうと400文字の場合、1記事100円程度が相場です。

安いと50円、高めだと200円といったところです。

1記事作成するのにどれくらい時間がかかるかは、人によって異なりますが、通常は15分ぐらいかかります。

1記事が一般相場の100円だとすると、時給に換算すると400円！！

これで1日8時間働き、月間20日働いたとすると、1ヶ月の収入が64,000円にしかありません。

フルに働いて月収64,000円ですよ！！

都道府県最低賃金時間額（平成27年10月）で最も高いのが神奈川県905円。

最も安いのが、鳥取、高知、宮崎、沖縄の693円。

全国の加重平均では798円です。

この金額はほぼ毎年上がっています！！

つまり単純に計算すると、会社にいればそれだけで時給約800円もらえるものが、在宅ライターだとその半分の400円にしかないということ。

”最低賃金”の半額。

これって奴隷労働のようだと思いますか？

”ライティング奴隷”といって良いでしょう。

働いても働いても暮らしは楽にならずの世界。。

最低賃金制度は、労働者が最低限の収入を確保し、基本的人権を守るための制度。

それが、在宅ライターには全くないわけです。

それにも関わらずやりたがる人が多いのは、それだけ受給バランスがくずれているということ。

では今後はどうなるのでしょうか。

子育て中で勤めに出られない人は今後も多いでしょう。  
介護で出られない人にいたっては今後ますます増えることが予想されます。

通勤時間を省いて時間を有効に使いたい、  
場所を変えてもできるパソコンの仕事がしたい、  
という人は今後も減ることはないでしょう。

そう考えると在宅ライターは今後増えることはあっても減ることはない予想されます。  
つまり今後報酬のアップは望めそうにありません。

在宅ライターが選べる道は2つ。

1つはそのまま耐え続ける。  
もう1つはもっと報酬の高い仕事にシフトする。

報酬の高くなりうる仕事としては、次のものがあります。

- 特殊技能を持つライター  
(SEO、外国語、特別高い文章能力、アダルト)
- アフィリエイト
- ブロガー
- コピーライター
- コンサルタント
- インストラクター

例えば、(社)日本WEBライティング協会では、SEOに適した質の高い文章が書ける

ので、1文字2円いただきます。

これは上記相場の8倍です！！

コピーライターに至っては、「売れる文章」を書けるようになれば、さらにその10倍だ  
って珍しくありません。

つまり在宅ライター相場の100倍です！！

コンサルタントやインストラクターに至っては、ほとんど上限はありません。

もはやライターではありませんが。。。

あなたもぜひスキルを上げて、“ライティング奴隷”から抜けだしてください！！

## (2) スキルに応じた収入格差の驚くべき実態

●Webライターピラミッドとは、  
文章を書くことを仕事にしている人を上から下まで階層分けした下記の図。  
ウェブライティングを主体としているので、小説化・文学者は、対象に入っていません。

階層は次の6層に分かれています。  
収入は大まかな目安です。

●一番下；ビギナーライター  
例) 在宅、単発請負ライター、アフィリエイトの下請け  
時給；400～800円

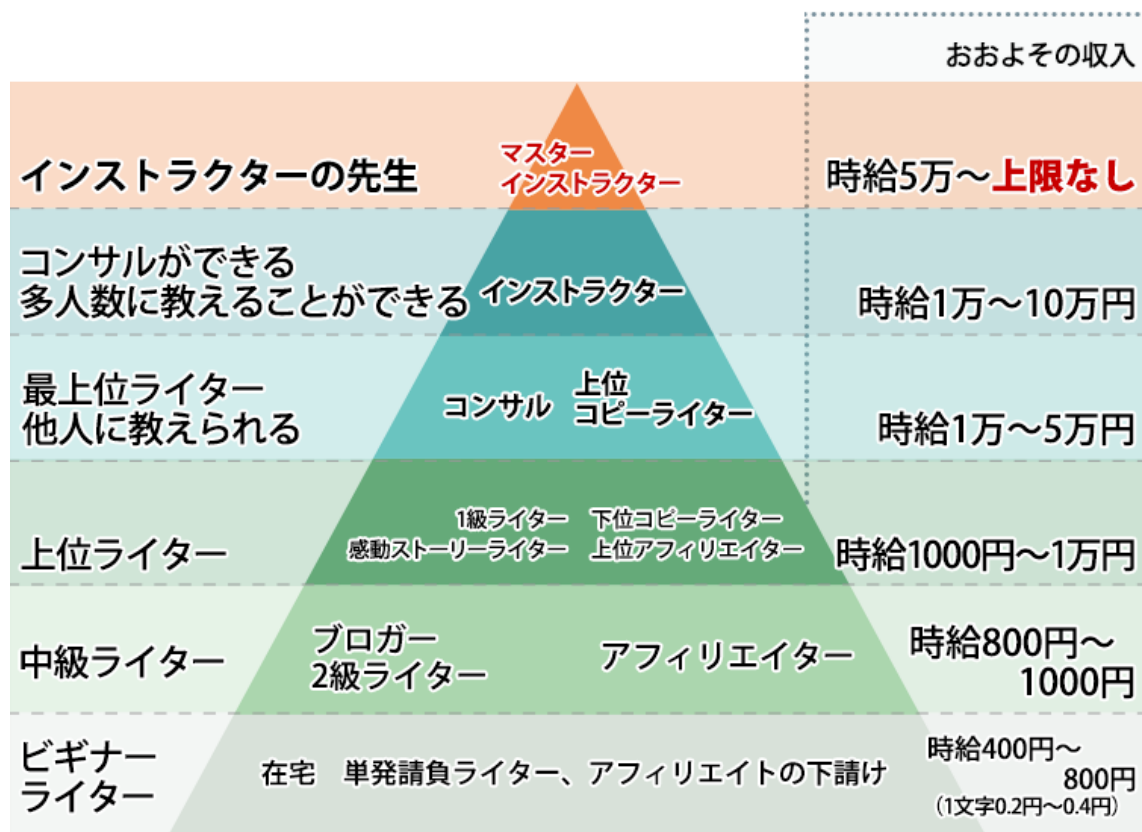
●下から2番目；中級ライター  
例) ブLOGGER、2級ライター、アフィリエイト  
時給；800～1000円

●下から3番目；上位ライター  
例) 1級ライター、感動ストーリーライター、下位コピーライター、上位アフィリエイト  
時給；1000～1万円

●上から3番目（下から4番目）；最上位ライター  
例) 上位コピーライター、コンサルタント  
時給；1～5万円

●上から2番目（下から5番目）；インストラクター、多人数に教えることができる  
例) コンサルもでき、多人数に教えることもできる  
時給；1～10万円

- 一番上；インストラクターの先生  
時給；5万円～上限なし



### (3) スキルを上げると何ができるか？

Webライターピラミッドをご覧になると分かる通り、同じ Web ライターに属する人でもそのスキルの高さにより、収入が天と地ほどの差があります。

では底辺からどのようにすれば、ランクを上げていけるのかを解説します。

#### ●底辺（6 番目）から 5 番目への昇格

<目指すところ>

ブロガー、2 級ライター、アフィリエイト

時給；800～1000円

最低限の文章しか書けない方は、とにかくしっかり学び、経験することです。

最低限の文章を書ける人は日本中どこにでもいます。

日本人が誰もが受ける義務教育でその能力はついています。

だからほぼ誰もが通常の文章を書くことができます。

さらに、このレベルですと、中国人などの外国人で日本語を学んだ人でも参入しています。

中国には日本語専門の文章作成会社もあります。

同じ単価でも中国人にとっては、安くないので、モチベーションも違います。

だから日本人でこのレベルにいることは、大変損であり、最低賃金ももらえない、奴隷労働的なものです。

そしてどれだけ長くやっても収入は増えません。

ではどうすれば良いか。

まず、文章に関する様々なスキルを軽くて結構ですので、一通り学んでください。

市販のウェブライティングに関する本でも結構ですし、「Web ライティング能力検定」でも結構です。

その中であなたが最も出来そうなもの又は好きだと思えるものを見つけて下さい。

それによって、アフィリエイトを始めたり、ブロガーになって、あなたならではの情報を発信したりします。

読んで良かったと思われる文章を常にかけるようになれば、単価の高い注文も来るようになります。

ここでの1ランクアップには、それほど多くの時間や費用をつぎこむ必要はないので、とにかく上を目指す気持ちを持っていただき、実行することを強くお勧めします。

#### ● 5 番目から 4 番目

<目指すところ>

1 級ライター

感動ストーリーライター

下位コピーライター

上位アフィリエイト

時給 ; 1 0 0 0 ～ 1 万円

上記 6 番目から 5 番目は、特別なスキルは必要なく、全般的、網羅的な学習でできるものです。

しかし、ここから上は、個別のスキルの向上が求められます。

その中の 4 種類をご紹介します。

#### ・ コピーライター

コピーライターは、売れる文章を書く能力です。

コピー能力は、生まれながらのセンスや勘が重要と考えている方も多いですが、そうではありません。

学び方によって誰でも書けるようになるものです。



報酬の上限も非常に高いものですし、あなたが何かを販売するときに、強力な武器になります。

- ・上位アフィリエイト

アフィリエイトを始めて、最初の報酬が発生するまでが1つの大きな壁です。

最初の報酬が発生して、その成功例を繰り返し応用して行くと、報酬が一気に伸びる場合があります。

「これはイケる！」と思ったら、追求すると良いでしょう。

- ・1級ライター

どんな分野であれ、頼まれた文章を高いレベルで書くことができ、顧客の満足度が上がれば、報酬も高くなります。

そうなるためには、学びと経験の両方が必要です。

「Webライティング能力検定」で1級を取得することは、大きなきっかけになります。

- ・感動ストーリーライター

感動ストーリーライターとは、文字通り感動ストーリーを書くことによって、収入を得るライターのこと。

(社)日本WEBライティング協会では定期的に感動ストーリーコンテストを開催しています。最優秀賞は5万円の賞品券です。

金額は高いわけではありませんが、応募規定が5千文字以下であることから分かる通り、比較的短文で書けるものなので、効率は良いものです。

もちろん、感動ストーリーが書けるようになると、多くのコンテストに応募して入選するチャンスが広がります。

優勝賞金100万円程度のコンテストはたくさんあります。

収入が安定しているわけではないことから、本業としては難しいでしょうが、副業として割の良い仕事にできる可能性があります。

## ● 4番目から3番目

<目指すところ>

上位コピーライター  
コンサルタント

時給；1～5万円

ここからはいよいよ確実に一般会社員より高い報酬を得られるステージです。

・上位コピーライター

コピーライターとして実績を積み、仕事を選べるようになり収入も格段に上がります。  
1つのランディングページで30～50万円という例もあります。  
売れっ子になると、さらにそこからの売上に対するインセンティブ（成果報酬）をもらうこともできます。

また、請負の仕事だけでなく、あなたが販売する物やサービスを構築して、それをご自身の文章で販売することも魅力的です。  
人のものを販売するより、自分のものを販売した方がやり甲斐もあります。  
上位コピーライターの可能性は、このレベルで終わるものではなく、収入からいえば一番上のレベルまで行くことも可能です。

・コンサルタント

どんな分野でも結構ですが、ライターとして実績を残せば、コンサルタントの道があります。  
あなたが持っているノウハウを教えて、広げる仕事です。

コンサルの形態としては、個別コンサルとグループコンサルがあります。  
最初は個別コンサルから入って、その経験を踏んでからグループコンサルを行うのが通常のパターンです。

● 3番目から2番目

<目指すところ>

コンサルもでき、多人数に教えることもできる

時給；1～10万円

コンサル経験を積み、ユーザーの様々な疑問や問題点を知ることができるし、指導経験を次の指導に活かすことができます。

インストラクターはセミナー或いは動画を通じて、多くの人に教える仕事です。

それだけに人数を集めれば、大きな収入になります。

下位のレベルの人を引き上げる仕事ですので、やり甲斐もあります。

ただし、インストラクターになるためには、ライティングスキルや経験があるだけでは足りません。

人前で話す能力、教える能力、そして究極的にはセミナーを企画し集客する能力も必要になります。

## ● 2番目から1番上

<目指すところ>

インストラクターの先生

時給；5万円～上限なし

上述のように、インストラクターはトータルな能力が必要になります。

それを教えるのが、インストラクターの先生です。

当然のことながら、ご自身でコンサルやインストラクターの経験がなくてははいけませんし、それに成功していなくてはなりません。

簡単にできることではありませんが、ライター関連の最上位のポジションとして、目指すのも良いと思います。

#### (4) 稼げる Web ライティング術とは？

稼げる Web ライティングとはどのようなものを言うのでしょうか。

あるテーマについて記事を書くだけのことであれば、日本語さえ知っていれば誰でも書けます。

しかしこれでは、あまりに報酬が安く“稼げる”とはとてもいえるものではありません。ここで“稼げる”とはただお金になるというだけでなく、平均的な仕事より多く“稼げる”ことを意味することにします。

稼げる Web ライティングとは簡単にいうと「読者を動かす」ことができる文章か「普通は書けない」文章です。

「読者を動かす」文章とは、読者の心を動かし、期待している行動を起こしてもらえる文章のことです。

「普通は書けない文章」とは SEO に良いとか、人を感動させられるとか、日本語として完璧な文章、アダルトなどです。

ここではまず、より少ない労力で大きく稼げる「読者を動かす」文章について解説します。

どのような文章であれば「読者を動かす」ことができるのでしょうか。

それは媒体や目的、対象者などによります。

##### ・コピーライティング

ここでの「コピーライティング」には2つの意味があります。

1つは、自分でセールスコピーを書くこと、

もう1つは、職業としてコピーライターになること。

どちらもスキルを磨けば大きく稼ぐことができます。

共通しているのは「売れるコピー」を書けることであり、これは莫大な需要があります。

日本の成熟した社会の中で、ただ商品の特徴をそのまま紹介するだけでは、売れません。

それをウソや誤魔化しなしで売れる文章にすることができれば、販売者にとってとてつもなく大きな恩恵を受けることができます。

当然、そのライターには大きな報酬が支払われることになります。

販売に最も大きく影響を与えるのがランディングページ（LP）といって、

ユーザーが最初に訪問するページの文章です。

コピーライター又はそれと同等の能力がある場合は、LP の作成 1 ページで数万円から数十万円の報酬を得られます。

実績がないが自信があるという方は、成果報酬制として、報酬をもらうことをお勧めします。

特に、既にLP があって販売してきた場合は、LP を変更した場合の効果が測定しやすいのでスムーズにできます。

成果報酬制でしたら、収入の上限がないといって良いものになります。

コピーライティングというのは、大変爆発力のあるものであるだけに悪用されるケースが目立ちます。

一定のテクニックを磨けば、ある意味誰でも書けるようになるものなので、倫理観の低い者が利用すると、多くの被害者を生むことになります。

それは一時的に儲かることができて、最終的には多くのクレームが発生し、悪評が広まり取り返しの付かないことになります。

ライターとしての信用を大切にしておこなう必要があります。

#### ・アフィリエイト

アフィリエイトは誰でも簡単に始められるということから、参加者が増えています。

ちなみに成功談があふれていますが、月額5千円以上稼ぐアフィリエイターは全体の5%だけと言われるほど難しいものです。

「簡単に大儲けできる」という宣伝文句に釣られて、最初から多額の投資をするようなことはないようにしましょう。

安易に考えて稼げるほど簡単なものではありません。

ただし、単価の安いライティングの仕事をやることから考えると始めるメリットは大きいといえるでしょう。

アフィリエイトでもライティングは非常に重要性を増しています。

以前までは、サービス提供者の文章をそのまま載せていても検索エンジンで上位表示して稼ぐことができました。

しかし今ではオリジナルで質の高い文章を載せなくては、上位表示することが難しくなりました。

従って、外注で安い単価で書いてもらった記事をいくらたくさん載せてもなかなかうまくいかないのです。

ではどのように書けば良いのか、アフィリエイトの種類別で解説します。

#### （物販系）

メーカーからの宣伝文章を参考にするのは当然ですが、基本的にオリジナルの文章を作成する必要があります。

そのためには、実際に購入して、そのレビューを載せるのが一番効果的です。

これを行うことによって、メーカーからの宣伝文章が本当なのかどうかを検証することができます。違っていた場合には読者にとって大変有益な情報になりますし、ライバルに大きな差を付けることができます。

またレビューはなるべく詳しく書くようにして、写真を多用し、場合によっては動画を利用するなどすると差別化された「稼げる」アフィリエイトになるでしょう。

#### （無料登録系）

上記物販系と比べれば、利用するうえでのハードルが低いので、それほど文章力は必要ないと思われるかもしれません。

しかしそれでもやはり重要なことに間違いありません。

検索エンジンで上位表示するためには、他には負けないぐらいの文章量が必要ですし、ユーザーにとっても多くの情報量があることはありがたいことです。

ですので、ここでも実際に体験してみてレビューを書くことをお勧めします。

それが多ければ多いほど良いでしょう。

#### （アドセンス系）

アドセンス系アフィリエイトは、ウェブサイトによくのアクセスを呼んで、そこに自動で挿入されている広告をクリックしてもらうことにより発生する収入を得るものです。収入はアクセス数と扱っている記事内容で決まります。

アクセス数は多いに越したことはありません。

広告は記事内容に応じて配信されるものなので、美容系や金融系など単価が高いジャンルの記事を書くことで稼ぎやすくなります。

ここでは商品がないので、記事内容が命となります。

文章を書くことに自信のある方や、特定の分野で非常に詳しい知識を持っている方にお勧めします。

一度読んだ読者がその後も頻繁に見に来るようになる文章が書ければ、コンスタントに稼げる可能性があります。

(メールマガジン系)

メールマガジンはあなたを信用して登録してくれた方へのメッセージです。

だからあなたの信用を失うことがなければ、あなたの個性を存分に発揮して、書きたいことを書きたいように書けば良い場です。

しかし逆にいうと、普段公式に書いている文章と同じようなものだけだと、あまり反応が取れない可能性があります。

メルマガとして独自の文章にしたほうが良いのは次の項目があります。

内容・・・プライベート感な内容も普段以上に入れる

文体・・・フレンドリーな文章にする

改行・・・一行の文字数を10～20文字程度にし、行と行の間の余白を大きく取って読みやすくします。メルマガ読者は縦スクロールは苦になりませんが、文字が詰まっていることには抵抗があります。

これらに注意して、読者に有益な情報を与え続けたうえ、読者にとって良いものを紹介すれば、稼げるメルマガになります。

(PPC系)

PPC 広告（リスティング広告）とは検索エンジンやウェブサイト上に自動的に表示される広告で広告主が1クリックごとに課金されるものです。

この PPC 広告を利用してアクセスを集めて行うのが PPC 系アフィリエイトです。

アクセスごとにコストがかかるので、反応率が高いか、かなり利益率の高いものを扱わないとペイしません。

ただお金さえ払えば多くの有効なアクセスを集めることができるので、

コツをつかめば、コンスタントにしかも大きく稼ぐことが可能になります。

PPC 系アフィリエイトは扱うものが重要なのは当然のことながら、狙うキーワードとそれにマッチした広告文、そしてウェブの文章が必要になります。

いくら文章そのものが素晴らしくても、アクセスしてきた人が知りたい情報でなければ何の意味もありません。

検索してきた人の意図を読み取って、広告文を作成します。

そして広告文をクリックした人の意図も読み取って、それに見合ったウェブ文章を書きます。

PPC 広告は、キーワードと広告文を変えることによって、いくらでも反応率のテストができます。もちろんウェブ文章を変えてテストすることも有効です。

毎回お金がかかるデメリットがある代わりに、反応率テストを行えて、ウェブ文章をブラッシュアップできるメリットがあります。

多少操作は複雑ですが、それがあまり苦にならない方にはお勧めします。

## ・出版

通常の商業出版を行うと、一般的には初版の冊数に対して8%の印税が入ります。

1冊の単価が1500円で初版5000冊でしたら60万円になります。

たくさん売れて増刷されればさらに収入が増えます。

ただ出版はその金銭的なメリット以上にブランディングとして有効です。

出版すれば一気に社会的な信用が高まります。

特にスモールビジネスの経営者にとって大きくビジネスを加速させるチャンスとなります。

そういう意味では、出版の価値はプライスレスともいえます。

現在では出版は紙書籍と電子書籍がありますが、ブランディングとして強いのは圧倒的に紙書籍です。

紙書籍のほうが現物として示すことができ、目の前で進呈したり販売したりできるという意味でもメリットが大きいです。

では出版のためにはどうすれば良いか。

私が何度も成功した絶対的にお勧めの方法は出版を意図したブログ投稿をすることです。

目的が希薄だったり、その場限りのアフィリエイトが目的の場合とは記事の質に違いがでることでしょう。

その際、本のテーマになりうる記事をできるだけ多く書くことと、できれば構成なども考えながら行くと良いでしょう。

モチベーションのアップにもつながります。

内容的にはなるべく人の書かないことを書くこと。

常識とは違うこと、大勢の意見とは違うこと、そして誰も行っていないくらい深く追求した記事などです。

僕の処女作はまさにこの方法で行い、結果として僕が作成した企画書に対して5社から手が挙がりました。

通常、出版したことがない者に対して複数社から手が挙がるということはほとんどないこと。1社挙げれば万々歳といって良いので、少々悪い条件でもその会社と契約しなくてはなりません。

これが多くの出版社から手が挙がるということは、その中で最も良い条件で出版できる会社を選べるということ。

よほど売れている著者でもない限り、出版社の立場が圧倒的に強いので、このようなことは通常あり得ないことなのです。



・公募、コンテストへの応募

ウェブライティングに限らず、ライティング全般でいえることですが、公募、コンテストへの応募で稼ぐことができます。

選ばれた場合の賞金、商品は様々です。

江戸川乱歩賞は賞金1000万円です。

これは別格としても、わずか2000文字程度の文章でも賞金100～150万円というのはそれほど珍しくありません。

賞金が高いものほどそう簡単には入賞できないでしょうが、あなたの得意分野にあった文章を公募しているものがあつたらぜひチャレンジしてみるのが良いでしょう。

一般社団法人日本WEBライティング協会でも「感動ストーリーコンテスト」を既に3回行っております。

最優秀賞は5万円分の商品券ですが、毎回大変優れた作品が応募されます。

第3回の文字数の規定は500～5000文字となっています。

ここで応募されて入選されたことをきっかけとして、他の多くのコンテストに応募するようになった方もいらっしゃいます。

ブログで一度公開して、反応を見たり感想を聞いたりしてその結果に基づいて修正するべきところは修正して応募すると当選する確率が高まるでしょう。

コンテストを探す場合は「公募ガイド」をお勧めいたします。

公募ガイド ONLINE⇒<http://www.koubo.co.jp/>

## (5)「普通は書けない文章」の書き方

「普通は書けない文章」とは例えば次のような文章です。

### ・日本語として完璧な文章

日本語として完璧な文章は書ける人が非常に少ないので、これができるようになると、稼ぐことができます。

国語そして論文が得意な方は、磨きをかけていただければチャンスがあるでしょう。しかし、水を差すわけではありませんが、Web ライティングにおいて最も求められているのは、“何を書くか”ということです。

売れる文章や魅力的な文章を書けるようになるためには、国語力だけを磨いていてはいけませんし、それだけでは大きな収入にはなりません。

国語力があるということは、何事も上達は早いと思いますので、能力を存分に活かすためにもその先である「内容が素晴らしい文章」を目指して下さい。

### ・SEO に良い文章

SEO に良い文章の需要は高まっています。

それは、同じテーマで書いても SEO に強いかわ弱いかによって、アクセス数の結果が違います。

手間が大きく違うわけではないので、今はライターとして当然持っているべき能力です。詳細は「SEO」の課目で別の機会に説明します。

### ・インタビュー（取材）をまとめた文章

インタビューをしてその内容をまとめた文章を求められることがあります。

当然のことながら、この場合の単価は高めになります。

顧客に満足してもらえれば、継続的にできる仕事になりやすいので、ライターとしては、手抜きなく準備をして臨みましょう。

まずインタビューをする前に、顧客の要望に応じて相手のことをしっかり下調べをしてください。

インタビューで重要なのは質問の仕方です。

相手のことを知らずに、良い質問ができるはずがありません。

一般的には相手の実績の中で特に凄いと思えることや新たな取り組みに関して深く質問をする必要があります。

そしてインタビューでは事前に相手に録音をしても良いか聞きます。

その際、録音素材はインタビューの目的以外には使用しないことを説明します。

聞き漏らしやニュアンスを確認するためにも、了解さえ得られればぜひ録音をして、後で確認をするようにしてください。

インタビューではなるべく相手がリラックスした状態で話せるような雰囲気作りをしてください。

特に事前の雑談は重要です。

お互いが打ち解けて話せるようになれば、心を開いてもらえて良いインタビューになるでしょう。

あらかじめ用意していた質問をするのはもちろんですが、そればかりにとらわれるのではなく、なるべく自然な会話になるように心がけましょう。

インタビューが終わったら、相手に深く感謝の意を伝えます。

相手に、「この人とだったらまた話したい」と思ってもらえるように最後の最後まで誠心誠意を持って接しましょう。

インタビューさえ成功すれば、文字起こしの作業は、決して難しくはありません。

ただしここで最も重要なのが、顧客が何を望んでいるかです。

インタビュー記事の要点を載せて欲しい場合と、話した内容をすべて載せて欲しい場合があります。

通常はある程度要点をまとめることを求められます。

インタビューの中にはそのまま記事にしても意味がないものや本筋からはずれたものもあります。あまりすべてを掲載すると、退屈な記事になったり、重要な部分がぼけてしまったりします。

分量の制約にもよりますが、なるべく相手の魅力を引き出し、目的に合った質の高い記事にしてください。

読者が新たな情報や価値を得られて、読んで良かったと思われる記事にするよう心がけましょう。

ウェブで利用される場合は、キーワードを省略しないで書くことも重要です。

最後は、顧客が望んでいる意図通りになっているか、規定通りかをよく確認してから納品しましょう。

#### ・アダルト

アダルトな文章も需要が多い割に書ける人が少ないので、高い単価をもらいやすいです。文章内容もさることながら、投稿するホームページが過激な内容の場合もあります。在宅ライターですと、同居している人の目が気になって出来ない場合がかなりあります。周りに黙ってやっていて問題になるケースもあり注意が必要です。それだけに、アダルト文章が得意な人や好きな人、抵抗なくできる人は貴重です。稼ぐためにはそれをアピールするのも良いでしょう。

#### ・文字起こし

セミナーや動画などの文字起こしは一般的にはあまり良い単価はもらえません。文字打ちの早い人は有利ではありますが、概して聞き取りにくいところで引っかかって予想外に時間がかかることが多いものです。お見積もりを出すときに、音声がどれだけクリアに聞き取れるか、話している人の滑舌はどうなのかなどを確認してから行ったほうが無難です。

#### ・人を感動させる文章

一般的に人を感動させる文章を書くのは難しいと考えられています。小説家のような能力が必要なのだろうと。しかし実はちょっとしたコツによって上手に書くことができます。

まずは自分が感動したことを素材にするのです。これであれば、話を創作する必要はありませんし、ブレなく自信を持って紹介することができます。実際に自分が経験して感動したことでも、自分の経験ではないがある事実を知って感動したことのどちらでも構いません。「事実は小説より奇なり」といいますが、事実ほど深く重たいものではありません。事実が素晴らしければ、あとは特別な表現力などは要らないと言えます。

ただし、書き方はただ単にありのままに書くだけではいけません。それでは「自分が感動した」ことを伝える文章になるだけで、人を感動させるものにはなりません。

何かを成し遂げたのであれば、それまでの挫折や苦勞をしっかりと描写して、成功との落差を強調しましょう。

誰かの親切に感動したのであれば、過去の残念な経験やそれまでの自分のネガティブだった気持などをしっかり書きましょう。

失敗と成功、絶望と感動の落差が激しければ激しいほど感動が大きくなります。

特に気を付けなくてはならないのが、自分の成功談。

ヘタをすると単なる自慢話に受け取られてしまいます。

そうならないようにするためには、読者を勇気付けられるもの、読者の教訓になるものである必要があります。何をきっかけに何をしたことによって成功したのかにフォーカスしましょう。

さらに、成功した後のことより、うまくいかなかった頃の苦勞や苦悩を詳しく書いて読者が感情移入しやすいようにしましょう。

また、文章の中になるべく会話文や擬音語・擬態語を入れると話に臨場感が出て、イメージが強くなります。

そして物語は最後が肝心です。

最も書きたいことを最後の最後に持ってくるようにしましょう。

最後のほうにだらだらと感動とは関係ない説明や言い訳、自慢話などを続けるのはやめましょう。

以上のように実際に感動したことを題材にするのは一番お勧めです。

しかし、ストーリーとして書けるほどの感動した話は思い浮かばない、という方もいることでしょう。

人は日々の生活の中に埋没して、過去の感動した記憶がどんどん薄らいでいき、そして忘れていくものです。

ただ決して完全に忘れているのではなく、何かの拍子に思い出したり、しっかりと時間をとって記憶を巡らすと次々と思い出することがあります。

そうすることはストーリーのネタとしてだけでなく、人生を豊かでハッピーにすることに繋がりますので、ぜひ行っていただきたいものです。

ただ、それだけではやがてネタが尽きることは仕方ありません。

それからは事実創作を交えて書くということを付け加えていくと良いでしょう。

「良い話なんだけど人が感動するというほどではない」

といった場合に、「もっとこうだったらいいのにな」の部分を創作するわけです。

創作が入ると作家の世界に入ってきますが、既に実話の感動ストーリーを書いた経験が

あるのでしたら、それほど難しくはないでしょう。

## （６）協会に来たユニークな注文とその作成方法

一般社団法人日本 WEB ライティング協会では、その前身を含めると約 10 年間、文章制作を行っています。

その間には、本当に様々なご要望に応じて参りました。

ここではその中で珍しいタイプのご依頼を紹介します。

### ●キーワード出現頻度の幅を指定

SEO を強く意識されている方の中にはキーワード出現頻度を指定される方もいらっしゃいます。

だいたい 3 ～ 5 % が多いです。

この場合は、通常の文章作成と比べるとかなり面倒です。

もし 3 ～ 5 % であれば、800 文字であれば 6 回程度なのですが、文字数がぴったりになるわけではありませんので、解析ツールで調べながら調整する必要があります。

キーワード出現頻度解析ツール⇒

<http://www.searchengineoptimization.jp/keyword-density-analyzer>

多少面倒とはいえ、機械的に回数を調整することは難しくはありません。

問題は、いかに自然な文章にすることができるかです。

特に文字数が決められている場合は、やや強引な文章にならざるをえないことは覚悟する必要があります。

### ●キーワードを入れる回数を指定

上記と比べると、解析ツールを使わなくても良い分だけ楽になります。

慣れているライターであれば、ある程度計画的に文章を作成することもできるので、あまり大きな手間にはなりません。

ただし、気を付けなくてはならないのは、文章の出だしをキーワードで始めることを、連続して行ってしまうこと。

これでは、文章的に単調になってしまううえに、検索エンジンから過剰 SEO と判定される可能性があります。

あまり慣れていないライターが起こしがちな問題ですので、そこは注意が必要です。

## ● 1つのテーマで年間 1200 記事

当協会では、ある 1つのテーマだけで年間数百から 1000 以上の記事を作成することがよくありました。

例えば、家庭教師、看護師、小顔、遺品整理、段ボール、FX など様々です。

細かなネタ選びは執筆者本人が考えて行います。

月間にすると 50～100 記事です。

多くの場合、4～5 人で担当しますので、1 人月間 10～20 記事。

文字数は幅がありますが、だいたい 1 記事 500～1000 文字です。

これだけを聞くと、対した労力ではないと考えられるかもしれません。

しかし、同じテーマで月間 20 記事のみで終わるのでしたらともかく、それが毎月続くわけですから、ネタ選びがかなり大変です。

当然のことながら、テーマに沿っていれば何でも良いわけではなく、最低でも「読んで損した」と思われない記事の必要があります。

もちろんコピペは厳禁でオリジナル文章でなくてはなりません。

これを 5 年間続けた執筆者もあり、私は本当に頭が下がる思いがします。

彼らにどのようにネタを選ぶのかを聞いてみると、やはりネット検索が一番。

そして、普段から何か関わる話題がないか考えているそうです。

こうなると本当にプロ中のプロですね。

ただそれでも 1 人で何百何千もの記事を書くというのは想像を絶する世界です。

彼らが共通して言うのが、ある一定の領域を超えると

「特別意識しなくても書けるようになる」ということ。

つまりあまり考えずにすぐに書けるようになるそうです。

そこまでに、ある意味その分野で依頼人以上に詳しくなっているため、知識や経験に基づいて、再構成できるということなのです。

私はその領域になったことはないのですが、



人間の能力の限界の高さを感じずにはおれません。

● 1つのテーマで1記事 2000文字指定

依頼で多い1記事当たりの文字数は700～1000文字です。

これは私がそれを推奨しているからで、以前でしたら  
400～500文字が多かったものです。

この700～1000文字というのは、読者が読みやすくかつ役立つ情報がしっかり入  
れ込める量です。

しかも SEO 的にも良い分量です。

もちろんテーマや内容により、もっと少ないほうが良い場合もあれば、多い方が良い場  
合もあります。

しかし、一定の文字数を決めておかないと、仕事として請け負いにくいですし、注文す  
るほうも注文しにくくなります。

中にはすべての記事を 2000 文字前後で書いて欲しいという依頼があります。

これは量が多いので話題を大きく広げて展開しなくては書けません。

通常であれば要約して説明するところも、しっかりと詳細を説明することになります。  
この場合気を付けなくてはならないのは、文字数が多いからといって、余談めいたもの  
をたくさん書いたり、どこにでもある説明を掲載するだけのような手抜きをしないとい  
うこと。

読者は 2000 文字読むのであれば、それだけの情報が欲しいわけです。

2000 文字読んで 1000 文字で済む内容でしかなかったら不満が残ります。

文字数が多くても質の高い文章を書くための裏技は残念ながらありません。

とにかく調べることに時間をかける必要があります。

誰よりも調べれば誰よりも多くの知識を得ることができます。

そうすれば、あまり知られていない情報をたくさん書くことができます。

2000 文字を書く場合は 1000 文字を書く時間の 2 倍より多い時間を割く覚悟が必要で  
す。

## ●国語的に完璧な文章

あまり多くはありませんが、たまに国語的に完璧な文章を求められる場合があります。ただし漢字や文法には正解がありますが、文章内容や表現方法には正解がありません。従って、誰が読んでも完璧な文章というのはあり得ないといって良いでしょう。

例えば表記の揺れに関して、一般的には表記は統一させるべきです。しかし、その時の言葉のリズムやちょっとしたニュアンスによって、ほぼ同じ意味だけど違う言葉を使う場合があります。

例えば通常「感謝しています」を使っている中で、「ありがたく思います」を使用するのはおかしいわけではありませんよね。

ウェブを閲覧する人を「ユーザー」「読者」「読み手」と表現しますが、どれが正しいというものではありませんし、どれか1つに決めたほうが良い場合と、内容によって使い分けしたほうが良い場合があります。

私は「ユーザー」は広く一般の人で、何も読んでいない人も対象にしています。「読者」はある程度期待して読みに来ている人。「読み手」は「ユーザー」と「読者」の間の存在で、「読者」に加えてたまたま見に来ている人を含んでいます。ただし、この定義はいわば自分で勝手に決めたイメージ。

いずれにしても、読者に混乱させることなく理解してもらう書き方をしなくてはなりません。文章の統一性や一貫性と、文章に変化を持たせ、メリハリのある文章にするという相反することにうまくバランスをとらなくてはなりません。

接続詞なども入れた方が良いのか、流れでわかるから省略したほうが良いのかは、人によって判断が異なる場合があります。そのような意味から国語的に完璧な文章の依頼は、大変なのです。執筆者は正解のない答えを探しながら文章を紡いでいかななくてはなりません。

## ●法律用語辞典のリライト

今まで受けた依頼の中で最も難しかった中の1つが、法律用語辞典のリライトでした。多めの単価をいただきましたが、それでもペイできていたかどうか怪しいものです。

法律用語辞典は、既に日本語としての間違いや不適切なものはほとんどありません。中味が濃い文章なので簡単に省略したり追加したりもできません。だからリライトしにくいのです。

実はリライトしやすい文章というのは、日本語として稚拙な文章です。全体を構成し直して適切な文章にすれば良いのですから。しかし、完璧な文章をリライトすると、逆にヘタな文章になりかねないので、構成を変えて表現を他の適切な言葉に置き換えて書かなくてはなりません。

ただなかなか他の適切な表現が浮かばないことが多いのです。頭を絞りに絞ったり、類義語検索で調べたりしながら進めていきます。文章作成の経験が深く、日本語での多くの表現ができる執筆者でなくては務まらない仕事です。

## ●ブログ投稿の時間指定（自動化できない場合）

ブログ投稿の仕事はたくさんありますが、その中で投稿時間がある程度決められる場合があります。

朝、昼、夜に分けて1日3回行うというのはその1つです。

依頼者としては、読者が読みやすい時間帯にして欲しいとか、SEO 的な効果を期待してのことです。

この場合、予約投稿ができれば問題ないのですが、ブログシステムによってはそれができません。

一方ライターは通常一日中仕事をしているわけではなく、一定の時間しか執筆しないものです。会社に来るのはだいたい昼間だけ。在宅の場合でも、一定の空いた時間だけ働くものです。

ライターの心理的、労力的負担を考えると、報酬のアップなしでは頼みにくい作業になります。

ただ、依頼者としても時間指定による明確な効果が見えるわけではないので、報酬を上げにくいという事情があります。

結果として、ライターには同じ報酬の中で、「できる範囲でやってもらう」ということで落ち着きました。

逆にいうと、出来ない場合は連続投稿でも OK ということ。

このようなアバウトな契約は通常では考えられませんが、依頼者との長年の信頼関係があるからこそ成立したものといえるでしょう。

一般的に言えば、投稿時間の指定が必要な場合は、依頼者側が自動でできるシステムを提供すべきです。

それができないのであれば、単価を上げる必要があります。

#### ●文章を書いてそれに合う画像を選ぶ

あまり多くはありませんが、文章と画像をセットでの注文が来る場合があります。

文章は通常通り書けば良いのですが、それに合う画像を探すというのは、大きく分けて2つのコツがあります。

1つは良い画像集を利用すること、  
もう1つは文章内容に合うだけでなく、  
使用するホームページの内容や目的、  
イメージに合ったものを選ぶということです。

1つ目の良い画像集を選ぶのに参考になるサイトを下記に紹介します。

無料でもかなり質、量ともに良いものもありますので、よほどのこだわりがあるとき以外は無料で済みます。

ただしそれぞれのサイトに規約があるので、それを必ず読んで守らなくてはなりません。

2 つ目に関しては全体の目的を視野に入れながら選ぶということです。

例えば、レジャー、旅行サイトの場合、文章内容がお土産の説明であっても、景色や人が映り込んだ素材のほうが良い場合があります。

ダイエットのサイトで、カロリーの説明文の場合、食べ物の写真より、人が運動している写真が良い場合もあるでしょう。

もし特定のテーマの依頼が多い場合は、普段から自分で写真を撮ってストックしておくことをお勧めします。

スマホの写真であっても十分ですので、コストゼロでできることです。

自分で撮った写真であれば、規約に縛られず自由に使用できますし、選ぶときに時間がかからないで済みます。

ただし、写真の撮り方は少々習っておいた方が良いでしょう。

写真素材サイトで協会でも使用しているお勧めは下記です。

必ず規約に目を通して、内容を守って利用してください。

## 【協会で利用しているお勧め素材集】

### ■PIXABAY（日本語対応・海外サイト）

<https://pixabay.com/>

個人・商用利用可、登録不要

ライセンスは、Creative Commons CC0

（権利の放棄をしてるので、ライセンスの中でも最もゆるいライセンス

CC0 の説明 <http://sciencecommons.jp/cc0/about>）

画像の横は、PublicDomain になっているが、規約は Creative Commons

（どちらにしてもクリエイティブコモン CC0→パブリックドメインへ提供なので結局の意味は同じ）

<https://pixabay.com/en/service/terms/>

登録をしなくても、比較的大きな画像がダウンロードできるのも特徴。

（最大サイズは比較的印刷向けなので、Web 上の利用に限り登録は一切しなくても使える）

海外サイトのため、日本に関連するものは少ないがクオリティはとても高い。

#### ■ぱくたそ（日本語サイト）

<https://www.pakutaso.com/>

個人・商用利用可、登録不要

日本のサイト。

たまにアドセンス広告などで見かける人物写真も、ここの素材が多い。

人物写真は、変わったシチュエーション（たとえば社畜がテーマだったり）

の物が多く、他では見かけないようなものが見つかるので、インパクトが欲しい時に。

画質も高品質なので、申し分はなし。

基本的に、人物画像はモデルリリースを取得してあるもののみ利用可。

公序良俗に反する使用や再配布等は禁止。

<https://www.pakutaso.com/userpolicy.html>

#### ■足成（日本語サイト）

<http://www.ashinari.com/>

個人・商用利用可、登録不要

日本のサイトで、老舗。

人物素材がかなり豊富で、上にあげたぱくたそとは逆に

オーソドックスなものが多く、目的のものにあった画像を探しやすい。

基本的に、人物画像はモデルリリースを取得してあるもののみ利用可。

風景や草・木・花画像などもかなり大量にある。

公序良俗に反する使用や再配布等は禁止。

[http://www.ashinari.com/about/050\\_agreement/](http://www.ashinari.com/about/050_agreement/)

#### ■PhotoAC（日本語サイト）

<http://www.photo-ac.com/>

個人・商用利用可、要登録

人物画像がかなり充実している。

バックが白背景の人物写真が多く、何かと合成したいときには便利。

フリー素材だとなかなか見つからない年配者素材がかなり多め。

普通の風景などももちろん多い。

また、この1サイトで会員登録をしておけば、他の姉妹サイト

(シルエット・イラスト・フォント・年賀状・地図) も同じアカウントで利用できる。

無料会員は、DL の待ち時間と、画像のサイズ制限 (一番小さいサイズのみ) 有。

有料会員は、DL 待ち時間なし、サイズ制限なし

公序良俗に反する使用や再配布等は禁止。

<http://www.photo-ac.com/main/terms>

#### ■ByPeople (日本語非対応・海外サイト)

<http://www.bypeople.com/>

(写真のみは下記)

<http://photos.bypeople.com/>

個人・商用利用可、登録不要

ライセンスは、Creative Commons CC0

PixaBay でも DL できる写真を見かけることもあるが、

こちらはバンドル (まとめて) ダウンロードができるので、

気に入ったものを一括でダウンロードしておいて、後でゆっくり見るということができる。

他にも、SNS のサイズに合わせた写真のダウンロードもできるので、ダウンロード後即アップして使用できるという利点あり。

Full size Big (1240px)

Blog (600px × 400px)

Twitter (506px × 253px)

Facebook (484px × 252px)

の 4 種類

但し、サイトがかなり重すぎるのが難点。

<http://www.bypeople.com/terms.php>

#### ■番外 (お勧めではないですがイザというとき)

どうしても見つからない、専門的すぎる物の場合

パブリックドメインで見つかることがあります。

[https://commons.wikimedia.org/wiki/Main\\_Page](https://commons.wikimedia.org/wiki/Main_Page)

パブリックドメインとは、簡単に言うと著作権切れ。

例えば著作者の死後〇〇年後等 (国によって違いあり)、

青空文庫等はそれを利用して Web 上で小説を公開している例。

画像の説明にだいたい書いてあるのでその場合利用可能

■重たい画像を一括で軽くリサイズしてくれる便利ソフト

Ralpha Image Resizer⇒ <http://nilposoft.info/ralpha/>

~~~~~

## 【参考】

Web ライティングスキルを磨くための選択肢！

Web ライティング能力検定

<http://wwkentei.com/>

Web リスク管理士検定

<http://webrisk-kanrishi.com/>

Web ライティング学院

<http://webwriting.top/>

(社) 日本 WEB ライティング協会公式ホームページ

<http://xn--web-pi4be7e0holjd5279abzjl89cqgd.com/>

~~~~~

以上

一般社団法人日本 WEB ライティング協会

\*この著作物には著作権があります